

ダンスに導かれた将来の夢

大学生 西端千晴 19

4歳から昨年末までダンスを習っていました。習い始めた頃は、ただダンスが

好きという気持ちだけで踊っていました。

年齢を重ねるにつれて、仲間内でいざこざが起り、ダンスが嫌いになっていきました。

そんな時、ダンスの先生から発表会があると聞き、最後の目標に頑張ろうと思いました。

発表会までの間、自分で振りつけなどを考えたり、小さい子供たちの補助や面倒をみたりと、ダンスに一生懸命取り組みました。

発表会が終わると、先生から「千晴ちゃんは、子供から大人気ね。先生に向いていると思うよ」と声をかけてもらいました。

その言葉がとてもうれしくて、将来は幼稚園教諭になることを決めました。

発表会に参加せず、そのままダンスをやめていたら、今の私はいません。将来の夢に導いてくれた先生への感謝を忘れずに、日々頑張りたいと思います。

(大阪府河内長野市)

*無断転載不可